
5. 路上生活者（ホームレス）に対する生活相談・支援と居住保証

ふるさとの会
(東京都荒川・台東区)

I. 活動の背景と目的

台東区と荒川区にまたがる山谷地域には現在日雇い労働者と路上生活者が約7～8千人住んでいる。そのうち3割が60歳以上の高齢者である。バブル景気崩壊後、仕事を失った日雇い労働者が路上生活に落ちてきて、特に50～60歳以上の高齢路上生活化が目立ってきている。ふるさとの会は60歳以上の路上生活者を対象に生活相談と支援をしてきたが、生活保護を希望する者には側面からサポートをしてドヤ、アパートへの居宅保護へ移動させ、その後も住居保障と生活再建を目的に「高齢路上生活者自立支援センター」を設立した。

II. 活動の内容

1. 60歳以上の路上生活者を対象に「高齢者給食会」を開き、お昼ご飯と映画「男はつらいよ」のビデオを上映。毎回30人前後が参加。そこで生活保護希望者の相談を受ける。希望者を自立支援センターに宿泊させ、翌日、台東区の福祉事務所に同行し、申請する。申請が受理され、施設に入所し、あるいは病院へ入院した者には定期訪問を行い、様子を見たり、元気づけたりする。一定期間訪問を繰り返し、生活上のアドバイスを行う。
2. 毎週土曜日の夕方、登録者を対象に、料理とミーティングを中心とした自立プログラムを開催。
3. 特別行事として季節ごとに小旅行、俳句会、クリスマスパーティなどを開催。
4. 週日の昼から夕方にかけて登録者を対象にリビングサービスを提供。センターで談話、自炊、洗濯ができるようにする。
5. 鍼灸師による健康チェック、ようかんづくりなどの授産的プログラムなども開催。

III. 活動の効果及び今後の展望

路上生活者に対するケア（こころのケアを含む）は始まったばかりであり、いわば福祉フロンティアの側面があり、その意味で性急な効果は期待できないが、共同リビングの開始とその充実が路上生活者に対するケアシステムの確立にとって重要な要素を形成するものと確信する。我々の目的とするところは、スリップ、ドロップという現実を踏まえつついかにしてホームレスの住居保障と生活再建（ホームの再生）をはかるかというところにある。山谷に於けるホームレス問題の解決は、伝統的なドヤ街であり、しかも高齢化しているという背景抜きにはかんがえられない。すでにある資源をいかに活用するかが問われている。ドヤは住居としてみれば、憲法が保障する「最低限の文化的生活」を営む器には程遠い。しかし、ドヤは法的に言えば「住宅」ではなく、あくまで「旅館」である。この「旅館」を廃して「共同住宅」を建設するというのは、およそ実現可能な施策とはいえず、

予算の肥大化とはうらはらな貧しい結果しかもたらさない。法的には「旅館」でしかないドヤが「住居」化してきたのも山谷ドヤ街の歴史である。加えて高齢化にともないドヤが「終の棲家」となりつつあるのも事実である。だがこのドヤはあまりにも狭く、不衛生であり、危険である。住宅における「間取り」は人間の自立にとって重要だといわれるが、この「間取り」を地域とそのなかにおける人間関係に拡張すれば、共同の居間、共同の炊事場を中心とした多様で豊かな人間関係を形成することによって、狭小で孤立したドヤでさえ自立のための「間取り」の一部となることができる。小さいが多様で質の高いサービスを供給できる共同リビングの充実とその点在化は住居保障と生活再建（ホームの再生）の起点になるものと信じる。

ふるさとの会の主な活動

- ★高齢者給食会— 月2回、高齢者（虚弱老人、路上生活者含む）、障害者を対象に給食・健康チェック
生活保護の相談・娯楽等
- ★定例給食活動— 毎週日曜日の夜間、路上生活者に対する給食サービス
- ★越年期給食活動— おおむね12月28日～1月4日、行政機関が閉じている間、公園を借り切って、給食・暖房・宿泊の条件を作る
- ★夏祭り—— お盆の時期、田舎に帰省できない山谷の人が集まって、盆踊や娯楽を楽しむ祭りを開催
- ★定例学習会—— 高齢者福祉問題を中心に講師を招いた学習会
- ★調査・宣伝活動— シンポジウムの開催、路上生活者の基礎調査やアンケート調査
- ★高齢路上生活者自立支援センター
65歳以上の路上生活者の自立を目的とし、生活保護の取得・居住保障・就労の援助等を行う

会員になってひと月一食相当分のご援助を

- ★ひと月一食分に相当する500円の会費を納入し、ニュースレター「山谷タイムス」購読の通信会員になってください。
- ★会員になってひと月一食分に相当するボランティア活動をしてください。
例えば
 - ふるさとの会運営スタッフ
 - 日曜日の給食サービスに参加する
 - 夏祭りや越年期の炊き出し時期にカンパを集める
 - 夏祭りや越年期の炊き出しに参加する
 - 路上生活者調査に参加する
 - 山谷の高齢者福祉サービスに参加する、など。
- その他、資金、お米、野菜・食料品や衣類・布団類のカンパ等もお願い致します。

カンパ送り先

ボランティアサークルふるさとの会 東京都台東区清川1-23-5鈴木ビル301
TEL 03-3876-8150 FAX 03-3876-7950
郵便局番号 00260-5-63218 銀行 富士銀行 藤沢支店 店番 296
ふるさとの会 口座番号 2082599 藤井恒明

「ふるさとの会」入会案内より